

提言 5

「自分で」できる子どもに育てましょう。

・・・「言われればできる」になっていませんか？

〈調査からわかったこと〉

調査では、「しつけ」として教えられた行動が、本当に自分の意志を伴った行動として身につけているかを見るために、「部屋の掃除や片付け」と「起床」について「自分で」しているかを質問しました。

その結果、部屋の掃除や片付けについては、小2から高2へと学年が上がるにしたがって自分でする割合が約30%高くなっています。しかし、起床については、自分で起きる割合は約10%しか増えていないことがわかりました。

そこで、持ち物と部屋の掃除や片付けについて見てみると、自分だけで使える持ち物を持っている子の方が自分で片付けをする傾向が見られました。

さらに、起床することと片付けをすることとの関連を見てみると、自分で起きる子は部屋の掃除や片付けを自分で行い、家族に起こされる子は部屋の掃除や片付けを自分で行わない傾向があることがわかりました。

これらのことから、片付けについては、対象が具体物であり、自分の所有物であると認識しやすいため、「自分で」片付けるのはある程度当然のことと思われる。これに対し、起床については、「自分で」起きることの意義や必要性の理解が十分でない、「自分で」という意志を持った行動にはなりにくいと考えられます。このことと、就寝時刻が遅くなりがち傾向などが重なり、学年が上がるにしたがって自分で起床する割合が増えないのではないかと考えられます。

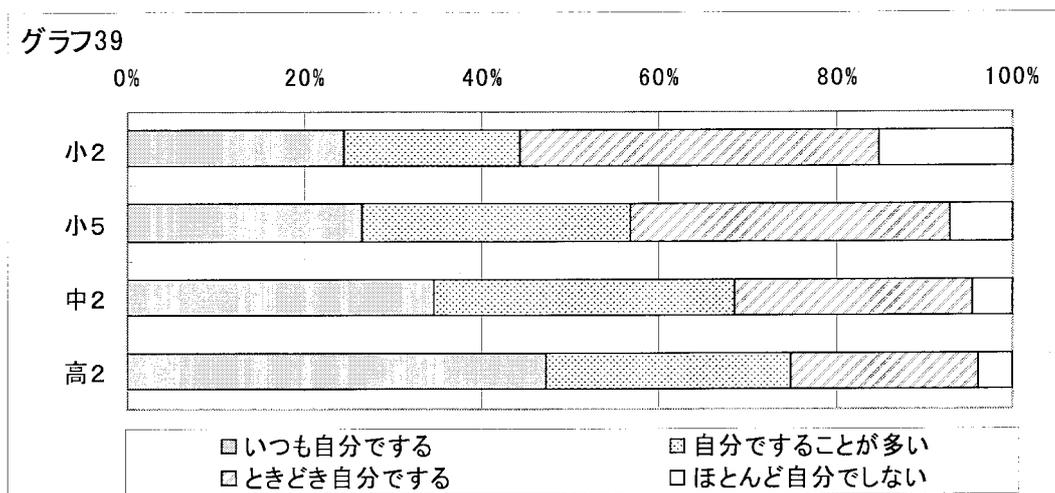
《私たち大人ができること》

「しつけ」には、生活リズムを整えるという側面と、社会生活を営む際に求められる行動様式を身につけるといった側面があります。やがて子どもたちは親から離れて自立していかねばなりません。起きないから毎朝声をかけたり、忘れ物をするたびに注意したりするが改善しないなどはよくあることです。これらのことは、「自分で」という意志を持たなければ変わらないことを理解させ、「言われればできる」から「言われなくてもできる」へと変えていきましょう。

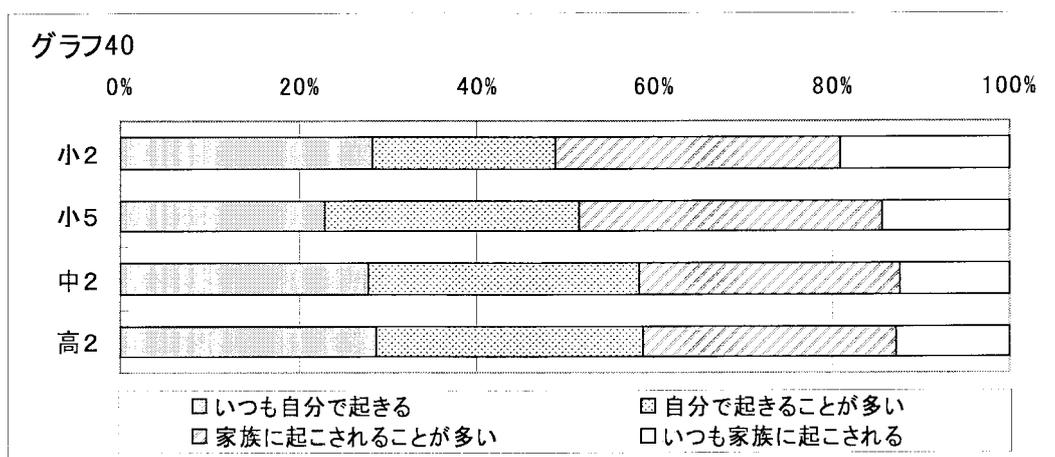
「言われればできる」になっていませんか？

【データ】

- 1 部屋の掃除や片付けについて、「いつも自分です」と「自分ですることが多い」を合わせた割合を見ると、小2が44.3%、小5が56.7%、中2が68.6%、高2が74.9%と、学年が上がるにしたがって自分でする割合が約30%高くなっています(グラフ39)。しかし、起床について同じように見てみると、「いつも自分で起きる」と「自分で起きることが多い」を合わせた割合は、小2の49.0%から高2の58.9%と、約10%しか増えていないことがわかりました(グラフ40)。

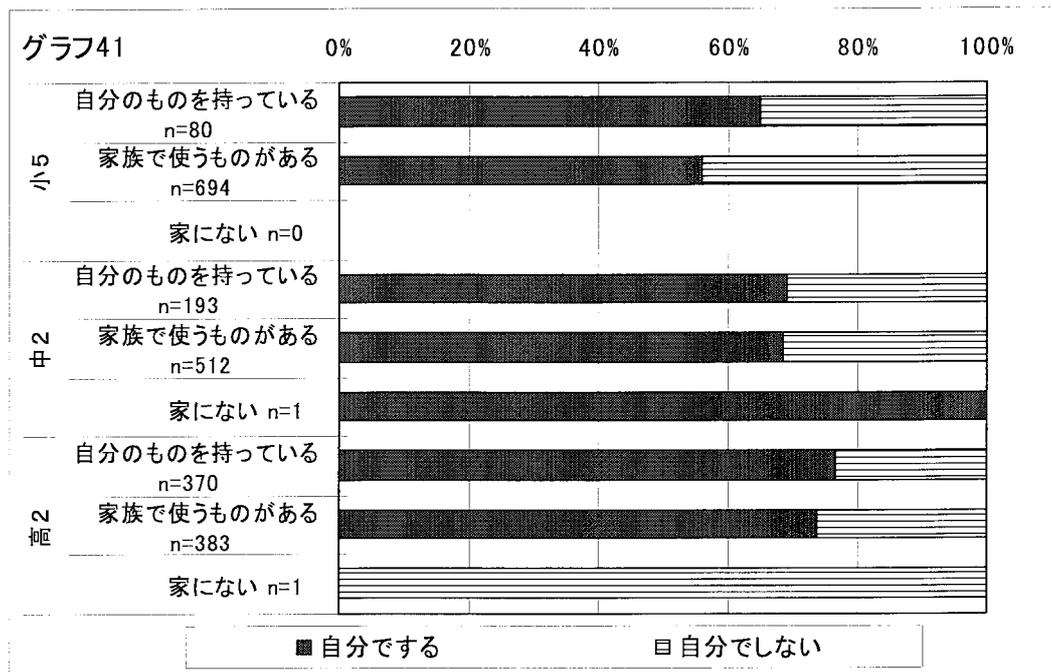


グラフ 39 : 「部屋の掃除や身の回りの片付けを自分でするか」の単純集計結果

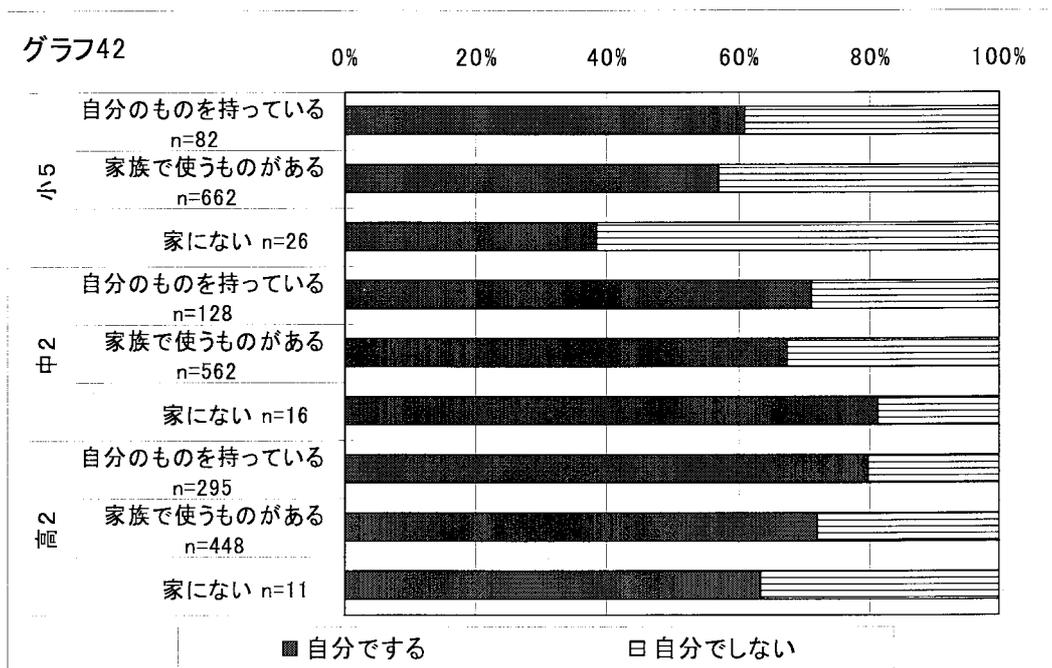


グラフ 40 : 「自分で起きるか」の単純集計結果

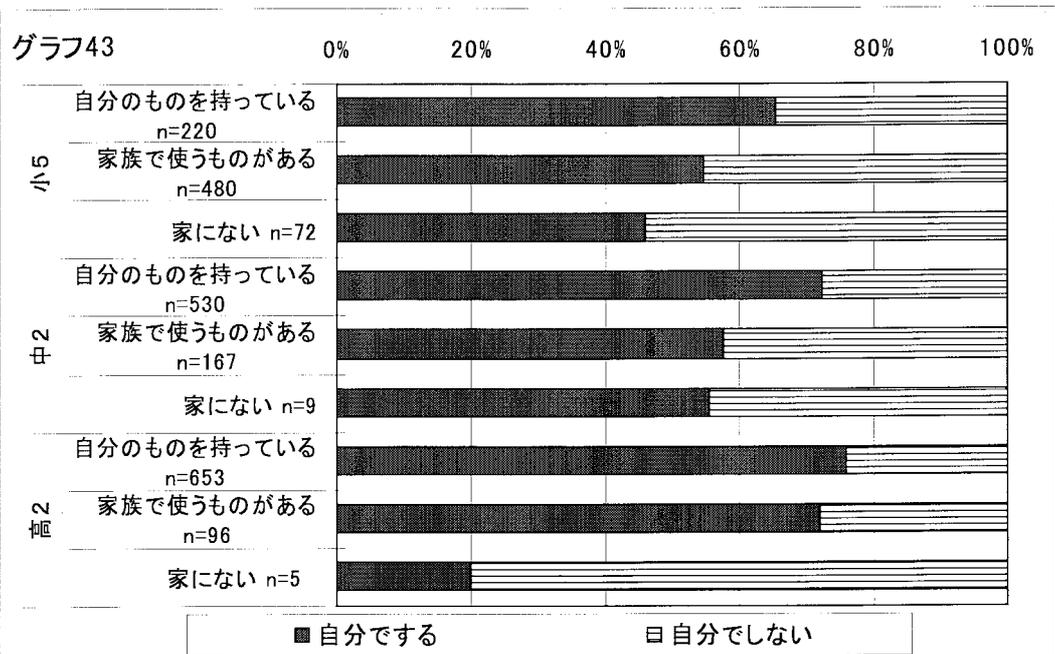
2 持ち物の状況と部屋の掃除や片付けを自分でするかとの関連について見てみると、「自分のものを持っている」子の方が自分で片付けをする傾向が見られるものもありました(グラフ 41~46)。



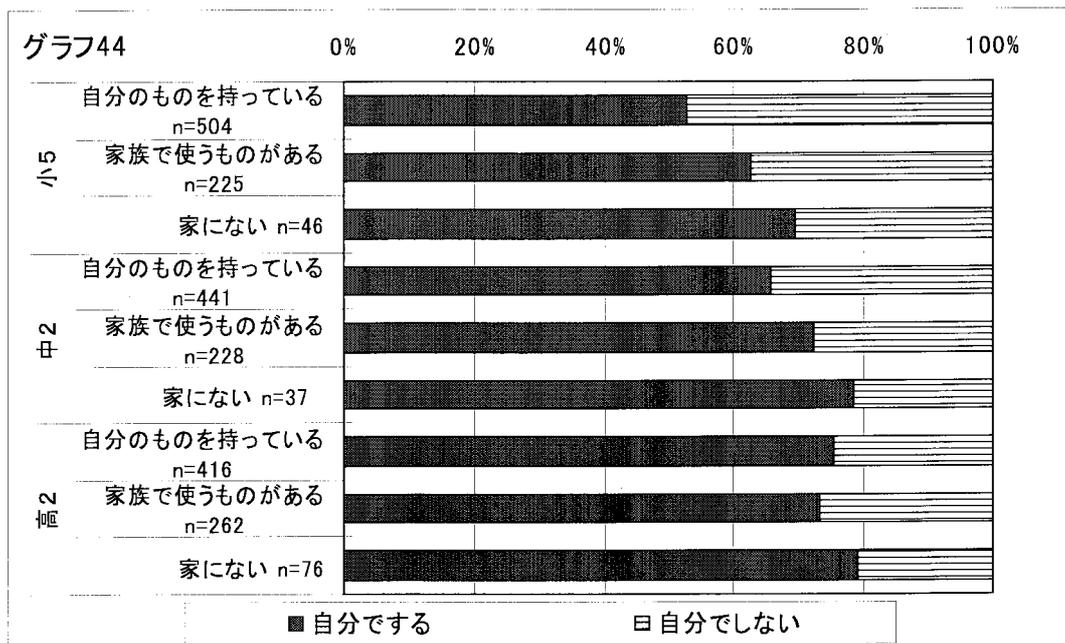
グラフ 41:「持ち物 (テレビ)」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果



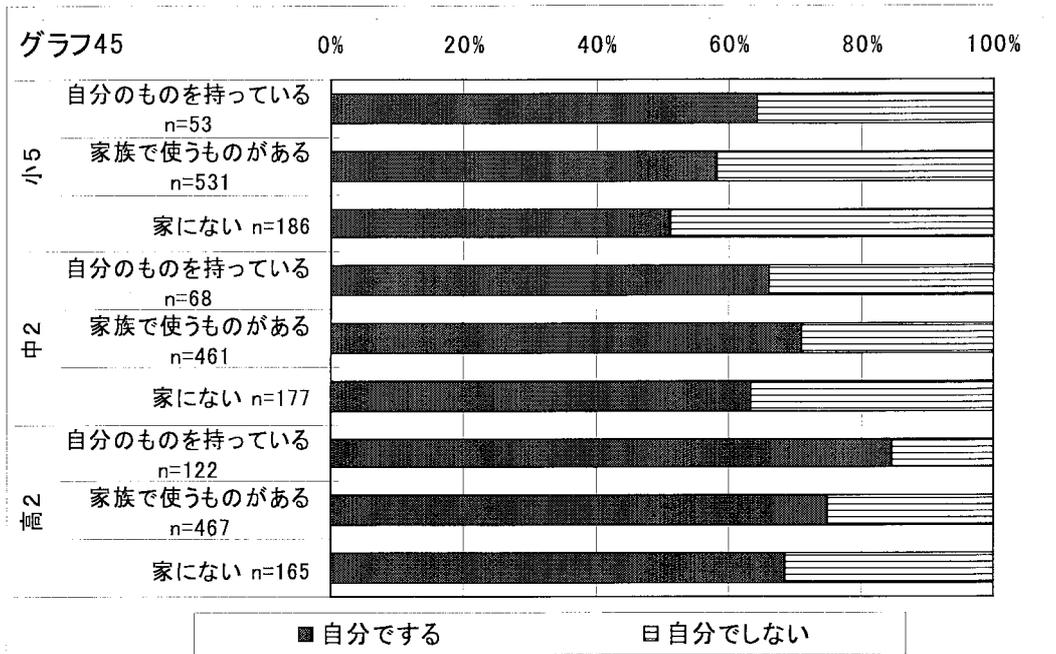
グラフ 42:「持ち物 (ビデオなど)」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果



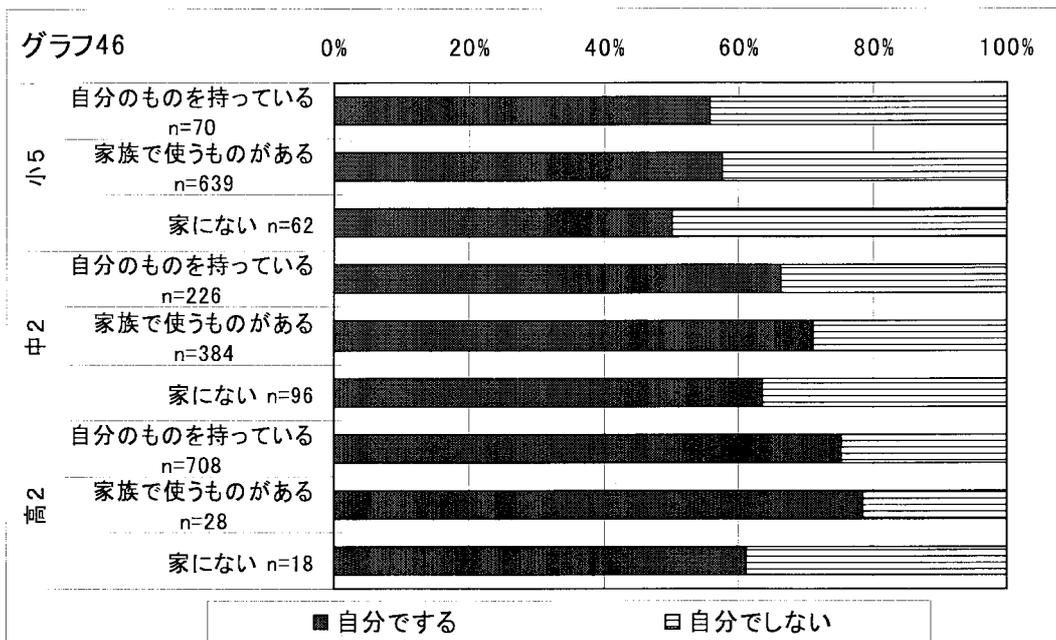
グラフ 43 : 「持ち物 (CD など)」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果



グラフ 44 : 「持ち物 (ゲーム機)」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果



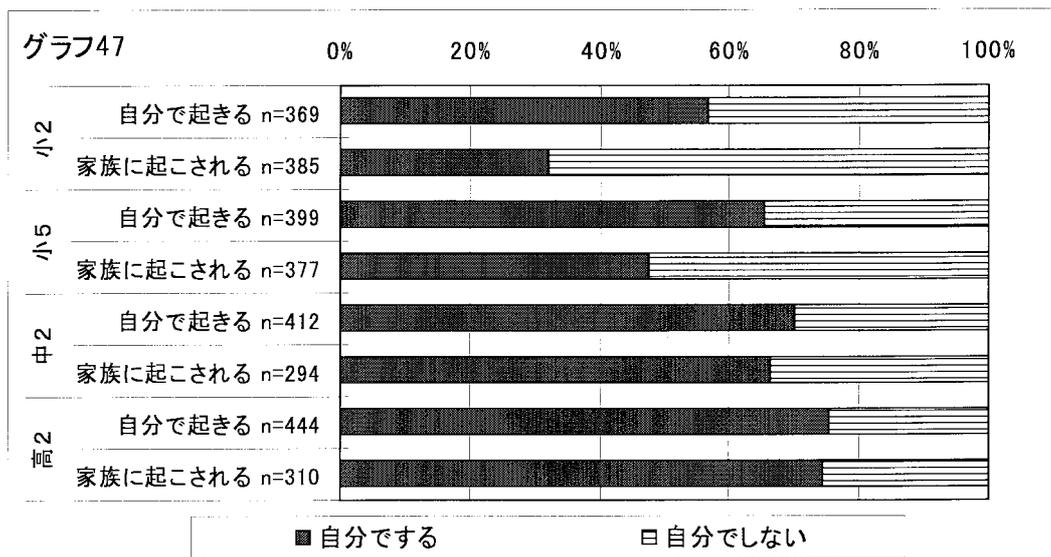
グラフ 45 : 「持ち物 (パソコン)」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果



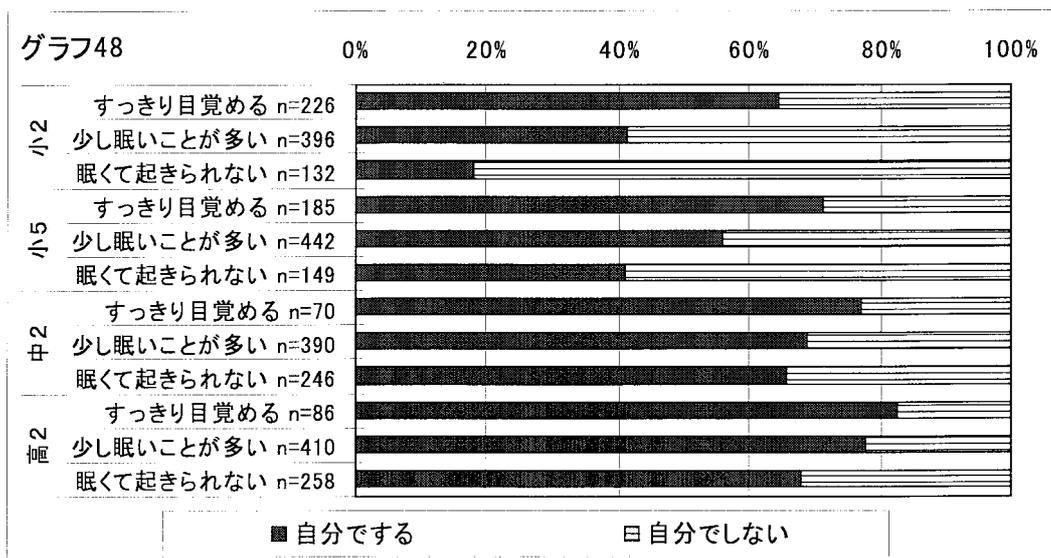
グラフ 46 : 「持ち物 (携帯電話)」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果

3 自分で起きる子は部屋の掃除や片付けを自分ですることが多く、家族に起こされる子は部屋の掃除や片付けを自分でしない傾向があります。ただし、学年が上がるにしたがって傾向が少なくなっています(グラフ 47)。

また、すっきり目覚める子は部屋の掃除や片付けを自分ですることが多く、眠くて起きられない子は部屋の掃除や片付けを自分でしない傾向があります(グラフ 48)。

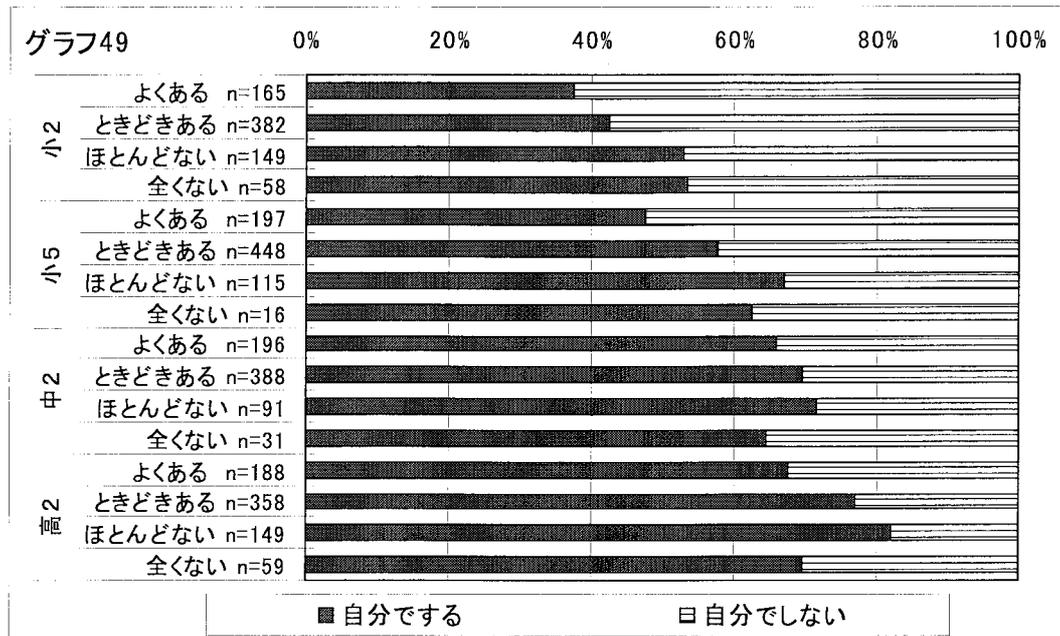


グラフ 47:「自分で起きるか」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果



グラフ 48:「すっきり目が覚めるか」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果

4 家族から普段の生活の仕方や習慣について注意を受けることが多い子は、自分で部屋の掃除や片付けをしない傾向があります(グラフ 49)。



グラフ 49:「家族から注意をされたり意見をされたりすることがあるか」と「片付けを自分でするか」とのクロス集計結果

